

事業遅延の理由書

- 実施団体名: 特定非営利法人 ハートセービングプロジェクト
- 案件名(実施国名): 医療機器輸送事業
- 事業予定期間: 平成 23 年 3 月 18 日～平成 23 年 4 月 17 日
- 日本 NGO 連携無償資金契約金額(供与限度額): 2,095,810 円

- 実際の事業期間: 平成 23 年 3 月 18 日～平成 5 月 16 日

【事業遅延の理由】

① 機器輸送の到着日の遅れについて

平成 23 年 3 月 29 日には通関手続きを終了しており、3 月 30 日には大韓航空への搭載が可能な状況でした。通常ですと問題なく 4 月 17 日にはすべての機器がモンゴルへ到着する予定でしたが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災と福島原子力発電所の放射能汚染というデマにより日本に滞在していた外国人の帰国ラッシュが発生しました。そのため大韓航空への搭乗客の増加とその手荷物増加が通常では予想できない程となり、そのため貨物輸送全体に大幅な遅延が発生しました。一時期は今回の機器輸送の到着予定日の確定すらできない状況に陥り、機器到着の予定日から毎日、現地での事業を支援する団体から人を空港へ派遣し、状況を確認するような事態となりました。当初われわれが輸送を発注したサントクエンタープライズ株式会社では、この件によるウェイティング費用を含む現地での輸送費用が日々増えてしまうため現地空港までの業務委託に変更し、空港からの機器輸送はわれわれから現地の企業へ直接依頼することにより費用の増加を防ぐことといたしました。医療機器は予定より遅延いたしました。平成 23 年 4 月 23 日モンゴル国ウランバートル空港に到着し、その同日モンゴル国立癌センターおよびモンゴル国立母子保健センターへ輸送が完了いたしました。

なお、国際輸送を実施した伊藤忠ロジスティクス株式会社からのレターを添付いたします。

② 支払い発生金額交渉の遅れについて

上記理由により、大韓航空による輸送業務に遅延が生じたため、モンゴル国チンギスハーン空港での通関業務および空港から各病院への輸送業務が実際の到着日まで日々待機状態となりました。そのため実際の到着日までの期間に当初予定外の予算が大幅に発生することが予想される事態となり、業務発注について見直しが生じました。結果、チンギスハーン空港から先の輸送を現地の輸送会社に発注し直し、それによりウェイティングにかかる費用を抑え、また国内の発注先であったサントクエンタープライズ株式会社とも料金交渉をし直すこととなりました。このため当初の予定から遅れが生じてしまいました。

予定外の出来事に起因するとはいえ、予定を遅れてしまいましたこととお詫び申し上げます。